

多文化共生のまちづくりを積極的に進めている地域があります。どのような交流でお互いの理解を深めているのでしょうか。今回は、「八幡西区光貞地区の留学生と地域の交流」と「小倉南区のしもそね日本語教室」の様子を紹介します。

留学生と教員が地域の夏祭りに参加 【八幡西区光貞地区の留学生と地域の交流】



光貞市民センター 前館長 三戸妙子さん
学研ボランティアの会理事 白石盛雄さん
浅川学園台 自治区会会長 沖原多燕恋さん

沖原：私たちの自治区会では、毎年8月に浅川学園台中央公園（八幡西

区）で浅川学園台夏祭りを開催しています。自治区会の役員には外国人市民もいて、一緒に運営をして夏祭りを盛り上げています。

白石：地域と留学生を結び付けたこの思いで集まった学研ボランティア



▲屋台でインドの揚げパン[パンパコーラ]を販売

アの会では、留学生が安心して留学生生活を送れるように地域の人の交流や日本文化の体験講座などを行っています。その一環として、夏祭りにも参加しています。昨年はインド人留学生が自国の料理を販売したんですよ。

三戸：光貞市民センターでは、日本語教室や外国人による料理教室など、外国人が学ぶだけでなく、教える側に立つ機会の提供もしています。夏祭りには、外国人の教員やその家族も参加して地域の皆さんと交流しています。

沖原：さまざまな国の人がそれぞれの国の民族衣装を着て盆踊りをする姿もこの祭りならではです。生まれた国が違うからこそ、お互いの国の文化を伝え、違いを受け入れて楽しむことが大切だと思うんです。

三戸：留学生と地域の人が交流でなあと感じています。
(敬称略)



▲盆踊りを楽しむ留学生

ボランティアによる地域日本語教室 【小倉南区のしもそね日本語教室】



しもそね日本語教室 代表 高城薫さん

毎週土曜日に田原市民センターで日本語を教えます。教室は日本語能力試験対策から日常会話まで、レベル別の班に分かれています。

生徒は、技能実習生や留学生、ALT（外国語指導助手）の教員などさまざまです。みんな本当に勉強

熱心で、区外からも自転車や車で通っています。

勉強だけでなく、日本ならではの文化や祭りの体験もしています。

春は花見、夏には浴衣を着て門司港の散策とわっしょい百万夏まつりの百万踊りへの参加、秋には甲冑を着て紅葉を楽しみました。イベントを通してさまざまな国の生徒が仲良くなり、落ち着ける場所にもなっているようです。今年も、地域の人と交流するイベントも開催する予定です。ここで学んだ日本語を生



▲生徒同士でも教え合いながら勉強中

かして会社や地域の人とコミュニケーションをとり、日本での生活を楽しくしてほしいです。

母国に戻った後も通訳関係や日本の企業への就職など、日本語と関



▲甲冑や官女衣装の着付けを体験

わる仕事をしている人も多くいます。昨年、インドネシアで同窓会があったのですが、企画と運営は全て卒業生がしてくれました。このようにずっと交流できているのもうれしいです。

北九州国際交流協会の主な取り組み

八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階 ☎643・5931 圏9~17時30分 休日曜日、祝・休日、年末年始

北九州国際交流協会では、多文化共生のまちづくりを推進しています。生活で困ったことなど、何でも相談してください。



▲英語を学びながら交流

外国人が母国の文化を紹介したり料理を振る舞ったりして国際交流を行うイベントやゲーム・クイズを通して英語を学ぶ学生向けの講座などを開催しています。皆さんも気軽に参加してみませんか。詳細は北九州国際交流協会のホームページへ。
QRコード

異文化理解のためのイベント

■ 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター！黒崎黒崎駅西側、コムシティ3階、☎080・6444・52606、9時30分~16時 同小倉小倉北区役所2階、☎0800・5278・8404、9時30分~12時、13~16時へ。
■ 在留資格や法律の相談、通訳派遣も行っています。



▲タブレット端末でテレビ電話通訳を利用

4月に設置した多文化共生ワンストップインフォメーションセンター（黒崎・小倉では、外国人や会社・学校・地域などで外国人と関わる市民からの相談に面談や電話で応じています。相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語に対応します。また、13言語に対応したテレビ電話通訳も面談時に利用できます（黒崎だけ）。解決が難しいケースについては、多文化ソーシャルワーカーによる継続的な支援を行います。